

コレクション展

ゴヤ版画展『気まぐれ』『戦争の惨禍』

Goya— *The Caprices / The Disasters of War*: Prints from the Museum Collection

2024年8月10日（土）－10月20日（日）

前期：8月10日（土）－9月8日（日）『気まぐれ』

後期：9月10日（火）－10月20日（日）『戦争の惨禍』

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館



フランシスコ・デ・ゴヤ

版画集『気まぐれ』 1 《扉絵(自画像)》1797–1798年(前期展示)

鋭い眼差しで人間を描破し、近代の画家の先駆者と称されるフランシスコ・デ・ゴヤ(1746–1828)。彼の生涯は、隣国フランスの革命やナポレオンによるスペイン侵攻、それに対する民衆蜂起が続く激動の歴史とともにありました。自らはスペインの宮廷画家として地位を獲得しながらも、病により聴覚を失い、晩年に亡命したフランス、ボルドーで82歳の生涯を閉じました。

さまざまに価値や秩序が変転するなか、ゴヤが後半生に手がけたのが銅版画です。無音の世界で到達したそのモノクローム一光と闇の世界の中には、人間に対する深い問いかけが刻み込まれているのではないのでしょうか。本展では、ゴヤの四大版画集から『気まぐれ』と『戦争の惨禍』それぞれ全80点を、前後期に分けてご紹介します。

特集：「1959—スペインにいった現代日本版画展」

「ゴヤ版画展」と併せて、日本におけるゴヤの受容を起点に、日本とスペインの間に展開した版画の交流の一端を辿ります。戦後の国際的な版画交流の黎明期、当館が1951年の開館以来、ピカソやゴヤの版画展を開催する一方で、1959年にスペインで開催された「現代日本版画展」に注目します。

展覧会のみどころ

1. ゴヤの傑作版画集『気まぐれ』と『戦争の惨禍』全点展示

全聳になったゴヤが最初に発表した版画集が『気まぐれ』(1799年初版)でした。登場する魑魅魍魎(ちみもうりょう)の豊かな表情には、人間の愚かさ、おかしみが醸し出されています。一方、『戦争の惨禍』(1863年初版)は60歳を過ぎたゴヤが「戦争」という現実を見つめ、10年余りをかけて制作したものの、生前に発表されることはありませんでした。

アクアチント、エッチング、ドライポイントなど多様な技法を駆使した銅版画独自のイメージに、表現者ゴヤの真髓がうかがえます。

2. 日本とスペインの版画交流

「ゴヤ版画展」の特集では、1959年にスペインで開催された「日本版画展（Grabados Japoneses）」に注目します。同展と、それに先駆けて当館鎌倉館の「スペインにいく現代日本版画展」に出品された村井正誠や上野誠、海老原喜之助などの版画や新資料を手がかりに、日本とスペインの間に交わされた作品と人の繋がりを辿ります。

開催概要

展覧会名：ゴヤ版画展『気まぐれ』『戦争の惨禍』

主催：神奈川県立近代美術館

担当学芸員：朝木由香、靱山昌夫

会期：2024年8月10日(土)－10月20日(日)※展示替えあり

会場：神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

開館時間：午前9時30分－午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日(8月12日、9月16日、9月23日、10月14日を除く)

観覧料：一般250(150)円／20歳未満・学生150(100)円／65歳以上100円／高校生100円

- ・()内は20名以上の団体料金です。
- ・中学生以下の方と障害者手帳等、ミライロIDをご提示の方(および介助者原則1名)は無料です。ミライロIDについて、通信環境等の影響によりタブレット端末等の画面で必要な情報が確認できない場合は、原本のご提示をお願いすることがあります。
- ・ファミリー・コミュニケーションの日(毎月第1日曜日：9月1日、10月6日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は割引料金(65歳以上の方を除く)でご覧いただけます。また同日は会話を楽しむ日「オープン・コミュニケーション・デー」となりますので、小さなお子様連れの方も、遠慮なくご覧ください。
- ・その他の割引につきましてはお問い合わせください。
- ・最新情報と来館に際してのお願いは美術館ウェブサイト等をご確認ください。

関連企画

ギャラリートーク

日時：8月24日(土)、9月21日(土)、10月5日(土)の午後2時－午後2時30分

場所：鎌倉別館 展示室

その他の関連企画は、美術館ウェブサイトをご確認ください。

お問合せ先

広報担当：永井、ハリントン、林、太田原

神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

Tel: 0467-22-5000 Fax: 0467-23-2464

E-mail: info.kinbi.474@pref.kanagawa.lg.jp

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-8-1

www.moma.pref.kanagawa.jp

同時開催の展覧会

葉山館

7月13日(土)– 9月28日(土)
企画展「石田尚志 絵と窓の間」

広報用画像データ一覧

本展広報のための画像データ(印刷用350dpi/オンライン用72dpi)をご用意しております。
ご希望の場合は次の必要事項を明記し、広報担当宛にEメールでお申し込みください。

展覧会名/希望画像アルファベット/データサイズ(350 or 72 dpi)/社名/媒体名/掲載予定日/担当者名/連絡先

- A) フランシスコ・デ・ゴヤ 版画集『気まぐれ』 1 《扉絵(自画像)》 1797–1798年 エッチング、
アクアチント、ドライポイント、ビュラン、紙 神奈川県立近代美術館蔵 (前期展示)
- B) フランシスコ・デ・ゴヤ 版画集『気まぐれ』 37 《弟子の方が物知りなのだろうか?》 1797–
1798年 エッチング、バーニッシャー、アクアチント、ビュラン、紙 神奈川県立近代美術館蔵
(前期展示)
- C) フランシスコ・デ・ゴヤ 版画集『気まぐれ』 43 《理性の眠りは怪物を生む》 1797–1798年
エッチング、アクアチント、紙 神奈川県立近代美術館蔵 (前期展示)
- D) フランシスコ・デ・ゴヤ 版画集『戦争の惨禍』 1 《来たるべきものへの悲しき予感》 1809–
1819年 エッチング、ビュラン、ドライポイント、バーニッシャー、紙 神奈川県立近代美術館
蔵 (後期展示)
- E) フランシスコ・デ・ゴヤ 版画集『戦争の惨禍』 30 《戦争の惨害》 1809–1819年 エッチング、
ドライポイント、ビュラン、バーニッシャー、紙 神奈川県立近代美術館蔵 (後期展示)
- F) フランシスコ・デ・ゴヤ 版画集『戦争の惨禍』 80 《彼女はよみがえるだろうか?》 1809–
1819年 エッチング、バーニッシャー、紙 神奈川県立近代美術館蔵 (後期展示)
- G) 村井正誠《女の顔》 1956年 シルクスクリーン、紙 神奈川県立近代美術館蔵 (全期展示)
- H) 上野誠《屠場のうた》 1957年 木版、紙 神奈川県立近代美術館蔵 (全期展示)
- I) 海老原喜之助《焚書》 1959年 リトグラフ、紙 神奈川県立近代美術館蔵 (全期展示)

A



B



C



D



E



F



G



H



I

